

出版記念

# 連続講座 「酒井忠清申渡状を読む」

全5回シリーズ



NPO法人まやはしは、

前橋市の郷土誌『前橋風』を出版しています。

第3号「酒井忠清申渡状109通の翻刻」を

2019年5月に出版しました。

今回、酒井忠清申渡状からの知見を紹介するため、

第3号の論文執筆者による連続講演会を開催いたします。

日 程 : 2019年10月~2020年2月の第3日曜日、午後2~4時

日時、各回のテーマ、講師は裏面をご覧ください

会 場 : comm (コム) (前橋市本町2丁目12-1。前橋市中央駐車場東向かい)

会場の場所は裏面をご覧ください。駐車場代等は各自ご負担ください。

入場無料 : どなたでも参加可 事前申込不要 先着50名

主 催 : NPO法人まやはし、NPO法人波宜亭倶楽部

後 援 : 群馬県、前橋市

問合わせ : NPO法人まやはし事務局

前橋市天川原町1-32-16 TEL 027-223-6333 (平日日中のみ)

酒井忠清は寛永14(1637)年に14歳で第4代前橋藩主となり、藩主を44年間務めました。

忠清は30歳で幕府の老中に就任。老中・大老を27年間務め、その権力の大きさから

「下馬將軍」とも称され、専制政治家と評されてきました。しかし、近年、その評価は覆され、前橋藩の領民を思う藩主であったことが分かってきました。

## 講演会日程

<日時、テーマ、講師>

- 第1回 10月20日(日) 「忠清と申渡状」  
野本文幸 (NPO法人まやはし)
- 第2回 11月17日(日) 「申渡状に見る酒井家初期家臣団の動向」  
古澤勝幸 (群馬県企画部世界遺産課)
- 第3回 12月15日(日) 「申渡状に見る利根川の氾濫と前橋城の修復」  
小島純一 (前橋市教育委員会文化財保護課)
- 第4回 1月19日(日) 「前橋藩領内の水陸交通と上野国」  
中山剛志 (群馬県立渋川青翠高等学校)
- 第5回 2月16日(日) 「前橋藩内における寺院移転による城下再編」  
田中一雄 (NPO法人まやはし)

\* 5回とも午後2時～4時

## 会場案内図

